



平成27年7月に竣工した「西風新都グリーンフォートそらの」

第107期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

広島電鉄株式会社

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社第107期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

梶田昌夫

旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の下落など海外経済の減速の懸念はあるものの、設備投資や雇用・所得環境が改善し、大企業に比べて出遅れていた中小企業にも改善の兆しが見られるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向

上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

平成24年7月に着工した石内東地区の大規模不動産開発プロジェクト「西風新都グリーンフォートそらの」につきましては、平成27年7月に全区域の造成を完了し、商業用地、業務用地を完売するとともに、平成28年1月からは住宅用地の分譲も開始いたしました。

また、平成27年12月には、連結キャッシュ・フローの効率化と有利子負債の削減を目的として、キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)を導入し、グループ全体の財務体質の向上に向けた取り組みを開始しました。

流通業および不動産業が減収になったものの、運輸業、建設業およびレジャー・サービス業が増収となりました。また、運輸業における原油価格の下落による燃料費の減少や、不動産業、建設業の経費減少により、増益となりました。

当連結会計年度の営業収益は、流通業および不動産業が減収となったものの、運輸業、建設業およびレジャー・サービス業が増収となり、前連結会計年度と比較して0.5%、249百万円増加し、47,044百万円となりました。利益につきましては、運輸業における原油価格の下落による燃料費の減少や、不動産業、建設業の経費減少により、営業利益は、前連結会計年度と比較して389.2%、2,005百万円増加し、2,520百万円となり、経常利益は、前連結会計年度と比較して612.6%、1,978百万円増加し、2,301百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、73.3%、778百万円増加し、1,841百万円となりました。

様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、収益性の向

上に努めてまいります。また、広島市が事業主体である電車の駅前大橋ルートの整備事業等を、関係機関と協力しながら推進してまいります。

今後の経済見通しにつきましては、海外経済の先行きなど不透明な状況であり、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。このような情勢のもと、当社グループといたしましては、様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供による収益の獲得と、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、収益性の向上に努めてまいります。

また、広島市が事業主体である電車の駅前大橋ルートの整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業、広島大学跡地の活用策「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」といった新規事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループ情報

運輸部門



高速バス・ローカルバスが全線乗り入れる県北の新たな交通の結節点として、今後も利便性の向上に努めてまいります。

備北交通(株)

平成27年5月に、当社が指定管理者として管理運営を行う「三次市交通観光センター」がオープンいたしました。当センター内にモニターを設置して交通案内や観光・地域情報の発信を行うほか、地元の特産物の販売やカフェコーナーを設置するなど、バス利用者の方はもちろん、地域の方々の憩いの場としても利用いただいております。

エイチ・ディー西広島(株)

平成27年10月よりコベルコ建機(株)の従業員輸送を開始し、それに伴い貸切専用車両を含めた4両を増車いたしました。

また、全路線においてバスロケーションシステム・ひろしま公共交通ナビ「くるけん」を導入し、旅客サービスの向上を図りました。

当社の特色でもある地元公民館との共催事業も引き続き開催し、地域貢献活動にも力を注いでおります。



芸陽バス(株)

より安全で快適な運行を目指し、全ての車両に「高機能デジタルタコグラフ」(運行記録計器)を設置するとともに、本社および瀬野川、西条、竹原、三原、豊栄の5つの営業所に「記録型アルコール検知器」を代替導入いたしました。運行管理の徹底やエコドライブの推進など、今後もバスの安全性を確保するとともに快適性の向上を積極的に図ってまいります。



弊社および香港ドラゴン航空スタッフ

広電エアサポート(株)

平成27年8月16日より、香港ドラゴン航空が週2便広島空港に復活就航いたしました。

これにより、弊社の地上旅客業務受託航空会社は、日本航空(週56便:羽田線、週7便:新千歳線)、チャイナエアライン(週9便:台北線)、中国東方航空(週7便:上海線)とあわせて合計4社となりました。

広島観光開発(株)

宮島ロープウエーでは、宮島弥山展望台のグランドオープン1周年のPRキャンペーンおよび厳島神社世界遺産登録20周年を記念したスタンプラリーを実施し、積極的に宮島弥山をPRするとともに、旅行口コミサイトなどインターネットでの利用促進の強化により、旅客誘致に努めました。

また、紅葉谷駅・榎谷駅の手すりの増設・改修、および榎谷駅のトイレなどの改修を行うことで、利便性・快適性の向上を図るとともに、獅子岩展望台の土間を整備して、お客様が安心して移動できるよう、施設の改善に努めました。



スタンプラリー台紙

グループ情報



宮島松大汽船

宮島松大汽船(株)

安全と省燃費を意識した運航に徹するとともに、お客様のご利用状況に応じ、混雑時には臨時便を運航し、利便性の確保と収益の向上に努めました。

平成27年12月より、宮島ロープウエーの乗車券と当社の往復乗船券がセットになったチケットや、島内の一部店舗のお買物券と当社の往復乗船券がセットになったチケットの発売を開始し、大変好評をいただいております。

建設部門

広電建設(株)

平成27年度は、土木部、建築部および不動産住宅部において、砂防堰堤・学校関係・公営住宅関係などの公共工事や民間工事を多数受注しており、広島西部山系303・304溪流砂防堰堤工事、広島市立城南中学校耐震改修工事などを施工いたしました。



広島西部山系303・304溪流砂防堰堤工事

流通部門



ぶちうま満腹コロケ

(株)広電ストア

平成27年度は惣菜部門の強化に重点的に取り組み、「おいしい、安心のマダムのお惣菜」をキャッチフレーズに、良質の素材にこだわるとともに材料の産地表示を行い、おいしさを追及してまいりました。

中でも、ぶちうまシリーズの「ぶちうま満腹コロケ」は、安芸津町のまる赤じゃがいもを使用して広島県産牛肉の甘辛煮をたっぷり入れ、大きさも通常の

1.5倍で、マダムジョイの名物商品となっております。

ぜひ一度ご賞味くださいませ。

(株)広電宮島ガーデン

平成27年10月に会社設立50周年を迎え、記念事業としてお客様感謝セール、宮島紅葉谷での紅葉の記念植樹を行いました。

また、県立広島大学宮島学センターの協力を得て「宮島参詣膝栗毛」(十返舎一九 作・「東海道中膝栗毛」の続編)を記念出版しましたが、同時に、江戸時代の宮島土産の定番であった色楊枝を模した「宮島五色楊枝」も制作し、新たな宮島情報の発信と魅力づくりに努めました。



「宮島参詣膝栗毛」と「宮島五色楊枝」

グループ情報

レジヤール・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

外国人旅行客の宿泊が大幅に増加しているなか、客室テレビの外国語チャンネルを増やしたり、1階ロビーに外貨の自動両替機を設置し、サービスの向上を図りました。

両替機については、両替の種類が増えたこと、両替金額の制限が少なくなるなど利便性が向上しました。



外貨の自動両替機



女子プロボウラー 川崎由意プロ

(株)ヒロデンプラザ

平成27年12月に、広電ボウルにボウリング女子プロボウラーの川崎由意プロをお招きし、チャレンジ大会を開催いたしました。川崎プロには、カープ×ボウリングコラボTシャツを着用して投球していただきました。

ボウリングボールやバッグなどのボウラーには嬉しい大会賞品も多数ご用意し、たくさんの方に喜んでいただきました。



日本グランドシニアゴルフ選手権表彰式

(株)グリーンバース・ヒロデン

平成27年11月12日・13日に、日本ゴルフ協会(JGA)主催の「第22回 日本グランドシニアゴルフ選手権」を開催しました。

本選手権は、70歳以上の男子アマチュアゴルファー日本一を決する大会で、全国の予選を勝ち抜いた110名の選手が当倶楽部に集結し、二日間にわたる熱戦が繰り広げられました。

ひろでん中国新聞旅行(株)

平成27年10月に「セレブリティ・ミレニアムで行く台湾・沖縄プレミアムクルーズ7日間」を開催しました。約1,500名のお客様にご参加いただき、皆様には優雅な船旅をお楽しみいただきました。

今後も地元旅行会社として、広島発着の高品質な旅、気軽にお楽しみいただける旅など、お客様にご満足いただけるバラエティ豊かな旅行を提案してまいります。



客船 セレブリティ・ミレニアム号

営業の概況



3号線を運行する1000形

新型超低床車両の導入

新型超低床車両1000形を2両追加導入し、新たに3号線（広電西広島～紙屋町西～広島港/宇品二丁目）での運行を開始しました。

これにより、市内線全系統で超低床車両が運行することとなり、お客様がバリアフリー車両へご乗車いただける機会のさらなる拡大に努めました。

電停施設の改良

「八丁堀」電停および「立町」電停の上屋を延長するとともに、スロープ勾配を緩やかにする改良工事などを行い、お客様の利便性の向上とバリアフリー化を図りました。



立町電停(下り)



バスロケーションシステム

バスロケーションシステムの導入完了

平成28年3月をもってバスロケーションシステム・ひろしま公共交通ナビ「くるけん」の導入が完了し、広島県内の事業者全体で、車両1,165両、バス停表示器68基を整備しました。

また、経路検索サイトとリアルタイムなデータ連携を開始し、利用者サービスの向上に努めました。

222号(横川温品)線・湾岸線の社会実験運行



222号(横川温品線)

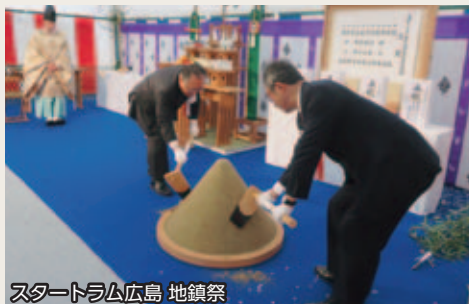
バス路線再編に向けた広島市との取り組みとして、都心部で重複するバス路線の効率化を図るため、平成28年1月23日～3月13日までの間、広島バス(株)と共同で、222号(横川温品)線および湾岸線の社会実験運行を行いました。

「西風新都グリーンフォートそらの」の竣工

平成27年7月に「西風新都グリーンフォートそらの(石内東地区開発事業)」の全工区の工事を完了し、商業用地と業務用地を完売いたしました。今後は、住宅用地の販売促進に取り組んでまいります。



西風新都グリーンフォートそらの(住宅用地)



スタートラム広島 地鎮祭

「スタートラム広島」の着工

当社と日本生命保険相互会社は、当社の「第二広電ビル」と日本生命の「日本生命広島第二ビル」を「スタートラム広島」として新たな複合オフィスビルに建て替えることについて合意し、平成27年12月、建物本体の建設工事に着手いたしました。

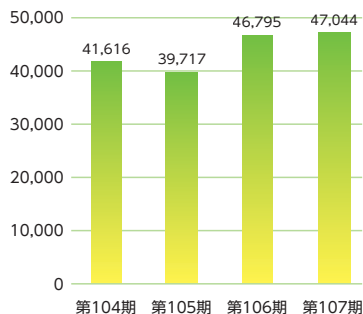
平成29年11月の竣工を目標として、現在プロジェクトを進めております。

連結業績ハイライト

		第104期 平成25年3月期	第105期 平成26年3月期	第106期 平成27年3月期	第107期 平成28年3月期
売上高	(百万円)	41,616	39,717	46,795	47,044
営業利益	(百万円)	1,437	832	515	2,520
経常利益	(百万円)	1,112	598	323	2,301
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,387	1,435	1,062	1,841
1株当たり当期純利益	(円)	22.87	23.67	17.52	30.36
総資産	(百万円)	92,048	93,537	93,352	89,092
純資産	(百万円)	34,199	35,898	39,422	40,265
自己資本比率	(%)	36.4	37.5	41.3	44.2
1株当たり純資産	(円)	551.90	578.86	636.01	648.77

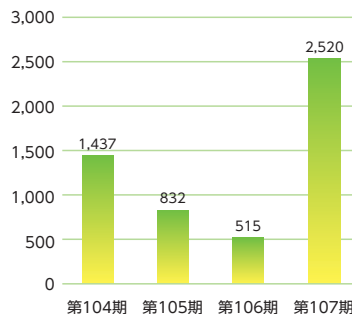
売上高

(単位：百万円)



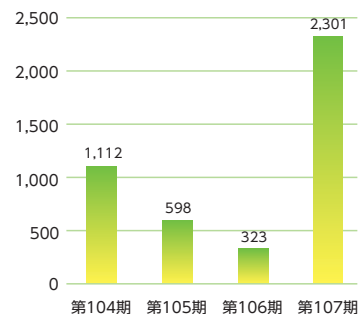
営業利益

(単位：百万円)



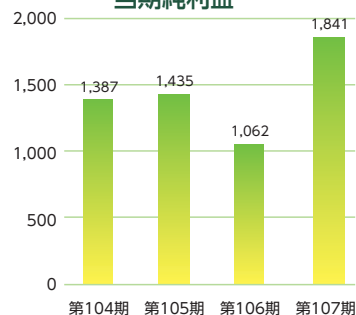
経常利益

(単位：百万円)



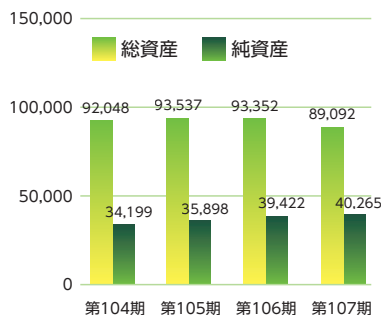
親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



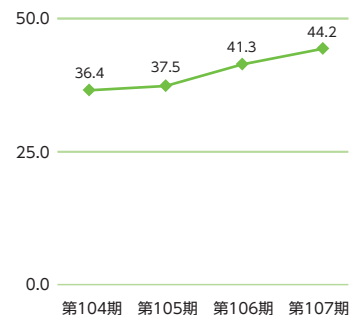
総資産／純資産

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 平成28年3月31日現在(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	16,376
現金及び預金	5,654
受取手形及び買掛金	2,032
販売土地及び建物	6,025
未成工事支出金	168
商品及び製品	168
原材料及び貯蔵品	540
繰延税金資産	469
その他	1,326
貸倒引当金	△ 7
固定資産	72,715
有形固定資産	65,485
建物及び構築物	15,652
機械装置及び運搬具	5,350
土地	42,647
建設仮勘定	675
その他	1,159
無形固定資産	717
借地権	27
その他	689
投資その他の資産	6,512
投資有価証券	3,866
長期貸付金	12
繰延税金資産	286
退職給付に係る資産	1,741
その他	671
貸倒引当金	△ 66
資産合計	89,092

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	20,798
支払手形及び買掛金	1,385
短期借入金	10,331
1年内償還予定の社債	329
未払金	2,364
未払法人税等	695
未払消費税等	353
繰延税金負債	2
未払費用	845
預り金	1,157
賞与引当金	1,163
役員賞与引当金	31
その他	2,138
固定負債	28,028
社債	859
長期借入金	10,418
繰延税金負債	819
再評価に係る繰延税金負債	10,008
退職給付に係る負債	1,313
その他	4,609
負債合計	48,827
純資産の部	
株主資本	15,166
資本金	2,335
資本剰余金	1,976
利益剰余金	10,947
自己株式	△ 92
その他の包括利益累計額	24,186
その他有価証券評価差額金	1,184
土地再評価差額金	22,514
退職給付に係る調整累計額	487
非支配株主持分	911
純資産合計	40,265
負債純資産合計	89,092

連結損益計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	47,044
運輸業等営業費及び売上原価	36,405
販売費及び一般管理費	8,119
営業利益	2,520
営業外収益	354
営業外費用	572
経常利益	2,301
特別利益	2,149
特別損失	1,424
税金等調整前当期純利益	3,026
法人税、住民税及び事業税	967
法人税等調整額	135
当期純利益	1,923
非支配株主に帰属する当期純利益	81
親会社株主に帰属する当期純利益	1,841

連結株主資本等の変動額一覧 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,972	3	1,976
利益剰余金	9,345	1,601	10,947
自己株式	△ 92	△ 0	△ 92
株主資本合計	13,562	1,604	15,166
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	2,023	△ 839	1,184
土地再評価差額金	21,992	522	22,514
退職給付に係る調整累計額	1,001	△ 513	487
その他の包括利益累計額合計	25,018	△ 831	24,186
非支配株主持分	842	69	911
純資産合計	39,422	842	40,265

注) 当一覧表は決算発表で開示された「連結株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。

連結キャッシュフロー計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,558
現金及び現金同等物の増減額	602
現金及び現金同等物の期首残高	4,379
現金及び現金同等物の期末残高	4,981

グループ会社の状況 (平成28年3月31日)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)広電ストア	96	100.0	流通業
広電建設(株)	50	100.0	土木、建築、住宅、不動産業
広電エアサポート(株)	98	100.0 (25.0)	航空運送代理業、保険代理店業
備北交通(株)	45	89.0	バス事業、旅行代理業
(株)広電宮島ガーデン	50	100.0	レストラン、売店
宮島松大汽船(株)	60	60.0	海上運送業
(株)ヒロデンプラザ	40	100.0	ボウリング、ゴルフ練習場
(株)グリーンバース・ヒロデン	90	100.0	ゴルフ場経営
(株)ホテルニューヒロデン	210	100.0	ホテル業
広電興産(株)	20	100.0	不動産賃貸業
エイチ・ディー西広島(株)	30	100.0	バス事業
広島観光開発(株)	125	57.8 (13.3)	索道業
(株)交通会館	156	63.7	不動産賃貸業
芸陽バス(株)	100	93.2	バス事業、旅行業、不動産業、保険代理業
大垂工業(株)	241	20.1	電気工事、電気通信工事、鋼構造物工事等
ひろでん中国新聞旅行(株)	100	50.0 (4.6)	旅行業
広島観光汽船(株)	40	－	海上運送業
(有)やまとタクシー	5	－	タクシー業
(有)広電商事	3	－	酒類の販売

注) 1. 出資比率は、保有株式数を発行株式数で除したものであり、()内は間接保有比率で内数であります。
2. 広電興産(株)は、平成28年4月1日付で当社との吸収合併により消滅いたしました。

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表 平成28年3月31日現在 (単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	11,116
現金及び預金	2,437
未収運賃	201
未収金	1,532
未収収益	42
短期貸付金	6
販売土地及び建物	5,954
貯蔵品	486
前払金	10
前払費用	8
繰延税金資産	376
その他の流動資産	57
貸倒引当金	△ 0
固定資産	64,120
鉄・軌道事業固定資産	12,911
自動車事業固定資産	12,839
不動産事業固定資産	29,834
各事業関連固定資産	1,867
建設仮勘定	675
投資その他の資産	5,991
関係会社株式	1,134
投資有価証券	3,586
長期貸付金	4,470
前払年金費用	1,054
その他の投資等	942
貸倒引当金	△ 5,196
資産合計	75,237

科目	金額
負債の部	
流動負債	16,384
短期借入金	9,097
1年内償還予定の社債	297
未払金	2,396
未払費用	588
未払法人税等	471
未払消費税等	192
預り連絡運賃	99
預り金	642
前受運賃	284
前受金	1,129
前受収益	144
賞与引当金	921
その他の流動負債	118
固定負債	25,317
社債	677
長期借入金	10,012
繰延税金負債	597
再評価に係る繰延税金負債	10,008
退職給付引当金	560
債務保証損失引当金	775
関係会社事業損失引当金	939
その他の固定負債	1,746
負債合計	41,702
純資産の部	
株主資本	9,849
資本金	2,335
資本剰余金	1,975
利益剰余金	5,591
自己株式	△ 52
評価・換算差額等	23,685
その他有価証券評価差額金	1,170
土地再評価差額金	22,514
純資産合計	33,535
負債純資産合計	75,237

損益計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額	
鉄・軌道事業	営業収益	6,369
	営業費	6,696
	営業損失	326
自動車事業	営業収益	10,768
	営業費	10,936
	営業損失	167
不動産事業	営業収益	10,459
	営業費	7,521
	営業利益	2,938
全事業営業収益	27,598	
全事業営業費	25,154	
全事業営業利益	2,443	
営業外収益	381	
営業外費用	512	
経常利益	2,312	
特別利益	4,750	
特別損失	5,397	
税引前当期純利益	1,665	
法人税、住民税及び事業税	658	
法人税等調整額	138	
当期純利益	867	

株主資本等の変動額一覧 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,975	—	1,975
利益剰余金	4,963	627	5,591
(剰余金の配当)		※△ 243	
(当期純利益)		※ 867	
(土地再評価差額金の取崩)		※ 2	
自己株式	△ 52	△ 0	△ 52
株主資本合計	9,222	627	9,849
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	2,002	△ 831	1,170
土地再評価差額金	21,992	522	22,514
評価・換算差額等合計	23,994	△ 309	23,685
純資産合計	33,217	317	33,535

- 注) 1. 当一覧表は決算発表で開示された「株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。
 2. ※は利益剰余金の内数です。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈基準および贈呈内容

株主優待乗車券・乗車証(年2回)		
所有株式数	種別	枚数
1,000株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ 4~24枚
12,000株以上	電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
24,000株以上	バス全線乗車証または 電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
	電車全線乗車券	12枚
36,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式)	1枚
150,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚
300,000株以上		3枚
広電グループ諸施設ご優待割引券(年2回)		
1,000株以上	広電グループ諸施設 ご優待割引券	1セット
自社指定商品(年2回)		
1,000株以上	広島県産品など	1セット

交付時期および有効期限

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	交付時期	有効期間	交付時期	有効期間
株主優待乗車券		—		—
株主優待乗車証	5月末	6/1 ~ 11/30	11月末	12/1 ~ 5/31
広電グループ諸施設 ご優待割引券	6月末	7/1 ~ 12/31	12月末	1/1 ~ 6/30
自社指定商品	7月	—	1月	—

株主優待制度のお問い合わせ先：〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号 広電本社ビル4階
広島電鉄株式会社 総務課(株式担当) ☎(082) 242-3522

電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚必要です。
3. 乗り継ぎには2枚必要です。

乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名者は、原則株主様となります。
ただし、株主様をご使用されない場合は、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系亲属(子または孫)の範囲で記名者を変更し、ご使用いただけます。
3. 使用者を変更する場合は、戸籍謄本、住民票などの証明書等で確認させていただくことがあります。

バス全線乗車証、電車・バス全線乗車証の通用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、呉広島空港線、米子線、三井アウトレットパーク倉敷線はご使用いただけません。
2. 三次・庄原・東城線、松江線、浜田線、広島呉線(クレアライン)はご使用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 当社が定めるシャトルバス・臨時便等にはご使用いただけません。詳しくは当社株式担当までお問い合わせください。

広電グループ諸施設ご優待割引券について

マダムジョイ・広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバースゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

自社指定商品について

1. 当社で指定した商品をご送付しています。最近では、音戸ちりめん、広島県産のお米などをご送付させていただいております。
2. 株主様が不在等で当社に返送された場合、送付の日から2週間以上経過したものを処分させていただくことがあります。

会社の概要

会社概要 (平成28年3月31日現在)

設立	昭和17年4月10日
資本金	23億3,562万5千円
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号
従業員数	1,655名
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業
営業軒	1. 鉄・軌道 35.1軒 2. 自動車 1,404.6軒
車両数	1. 鉄・軌道 297両 2. 自動車 545両

取締役および監査役 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	椋田 昌夫
常務取締役	迫 孝治
常務取締役	倉本 勇治
取締役	藤元 秀樹
取締役	沼田 卓壮
取締役	仮井 康裕
取締役	平町 隆典
取締役	横田 好明
取締役	瀬崎 敏正
取締役	岡田 茂
取締役	田村 興造
取締役	秦 清
常勤監査役	尾崎 宏明
監査役	笠井 久雄
監査役	坂井 康成

- 注) 1. 取締役 田村興造、秦 清は、社外取締役であります。
2. 監査役 笠井久雄、坂井康成は、社外監査役であります。

執行役員 (平成28年6月29日現在)

執行役員	玉田 和
執行役員	山田 康敬

株式の状況

基本データ (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	2億4,000万株
発行済株式の総数	6,089万1千株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	4,164名

所有者別分布状況 (平成28年3月31日現在)

区分	株主数(人)	比率(%)
金融機関	22	0.53
金融商品取引業者	7	0.17
その他の法人	55	1.32
外国法人	6	0.14
個人・その他	4,073	97.81
自己名義株式	1	0.02

所有株式数別分布状況 (平成28年3月31日現在)

区分	株式数(千株)	比率(%)
金融機関	11,135	18.29
金融商品取引業者	81	0.13
その他の法人	11,646	19.13
外国法人等	21	0.03
個人・その他	37,873	62.20
自己名義株式	133	0.22

大株主の状況 (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
広島日野自動車株式会社	2,341	3.85
株式会社広島銀行	2,088	3.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,755	2.88
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 五洋建設口	1,515	2.49
出光興産株式会社	1,500	2.46
株式会社鴻治組	1,403	2.30
広島ガス株式会社	1,236	2.03
三井住友海上火災保険株式会社	870	1.43
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	840	1.38
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託・三菱UFJ信託銀行口)	750	1.23

注) 株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,605千株(持株比率2.64%)を含んでおります。

株主メモ



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777(フリーダイヤル)

手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払のお申し出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告の方法

電子公告により当社ホームページ

<http://www.hiroden.co.jp/> に掲載いたします。

ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、中国新聞に掲載いたします。

お知らせ

平成28年5月30日、31日に株主懇談コーナーを開催いたしました。

次回の開催は次のとおりです。

日時 平成28年11月29日(火)、30日(水)

午前10時～12時、午後1時～3時

場所 広島市中区東千田町二丁目9番29号

広電本社ビル3階会議室